



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

大北がよりの

<https://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>



夏休み号②

令和6年8月2日

練馬区立大泉北小学校

校長 松井 貴子

「探究」の夏休み 計画通りいかないから 面白い どうすれば できるかな



校長 松井 貴子

7月後半、保護者の皆様には個人面談に御協力いただき感謝申し上げます。

夏休みに入り10日あまりが経ちました。「探究の夏休み！」をいかがお過ごしでしょうか。健康で順調にしている場合は持続をしていきましょう。しかし、なかなか計画通りにいかないこともあるかと存じます。

本校ではキャリア教育を通して「なりたい自分を意識する」学びを積み重ねています。キャリアはある年齢になると自然に獲得されるものではなく、発達の段階における発達課題の達成と深くかわりながら育まれます。計画を修正しながら進めることも子供たちにとって将来につながる大事な学びです。最近注目されているブランドハップスタンス理論、「個人のキャリアは人々の想像以上に偶然の出来事によって左右される。個人がすでにある特性に基づいて意思決定をしていくよりも、自分の能力・興味をより広大していくことが重要である。キャリアは安定したものではなく変化し続けるものであり、個人は其中で働き続けるための準備をすることが重要である。」というものがあります。偶然の出来事は将来の様々なことと繋がっているという考え方は。毎日流れるパリオリンピック・パラリンピックのニュースは生き方の様々な学びを知るよい機会です。

日本財団「18歳意識調査『国や社会に対する意識6か国調査』報告書(2022年3月24日)」の結果から、学校で勉強する意味として「目指したい目標が見つかること」は、これからの日本でもっと重視してよいのではと考えられています。そこで例えば、本校では小学校低学年におけるキャリア目標を、自分の好きなものを見つけ、大切なものをもつことや自分のことはできるだけ自分で言い、「やってみよう！」と行動する態度を育成していこうと考え設定しています。そして、授業や学校行事などの計画された偶然をチャンスとし「将来」につながる学びを実践しています。

ところで、誰もが自分の学びとするためのポイントは、「自分で調べてみる。」「人に話してみる。」「経験と関連付けてみる。」「明日の実践につなげられるか考えてみる。」ことです。9月には、どんな経験をしたかを伝え合う時間を設けたいと考えています。お子様の感動をご家族でも話題とし、「探究の夏休み」が充実したものとなるよう御協力をお願いします。

暑さ厳しい日が続いていますが、体調管理に気を付け夏休みだからこそできる体験をしてまいりましょう。

開校50周年記念実行委員会

副校長 西田 隆

7月17日(土)に第6回開校50周年記念行事実行委員会を実施しました。今年度の開校50周年記念行事等が子供たちにとって心に残る思い出となるよう、昨年度から打ち合わせを重ね準備をすすめています。記念品の選定や学校の周囲や屋上に掲げてある横断幕の設置、また、先日行ったバルーンリリースの企画も実行委員会を通じて、地域の方々のご厚意・ご協力により実施することができました。今後も11月16日(土)の開校50周年記念式典・祝賀会がよりよいものとなるよう準備をすすめてまいります。